

総合診療科

■ スタッフ

科長		伊藤 正明
医師	常勤	1名
	非常勤	1名

■ 特色・診療対象疾患

1. 当科の特色

地域の住民が健康で豊かな生活を送ることを目指し、臓器にかかわらず様々な身体や心の問題に対して診療することにより、患者中心の医療を提供するように努めている。診断困難な事例、多疾患等で困難な事例のコンサルテーションも受けている。様々な職種のスタッフとの協働体制をとっている。

2. 主な診療対象疾患

- 上気道炎、頭痛、めまいなど、日常でよく起こりうる病気や症状がある方の診療
- 様々な疾患をもったり、問題が多臓器に及んだりするため、一つの科だけでは診られない方の診療
- 不明熱、原因不明の検査異常など他の医療機関や他の専門科で診断・治療が難しい方の診療
- 精神科での治療が必要でないうつ病などの心の問題のある方の診療
- 大学病院でないと出来ない健診・検診業務

■ 活動実績

医師数の減少により、初診は休診となり、再診患者を年間 353 件の外来診療を行った。

主な病名は、高血圧、糖尿病、頭痛、腰痛、排尿障害、しびれ、慢性疲労症候群、うつ病、不安障害などであった。

1. 教育活動の実績

教育・研修

1. 卒前医学教育
 - (1) 地域基盤型保健医療教育 (医学科 1, 2 年生)
 - (2) 基本的技能臨床教育 (医療面接など)
 - (3) チュートリアル
 - (4) クリニカルクラークシップ (家庭医療・地域医療) (医学科 4-5 年生)

(5) 選択臨床実習 (家庭医療学) (医学科 6 年生)

2. 卒後臨床研修

- (1) 初期研修医向けセミナー
- (2) 家庭医療・総合診療専門研修
- (3) 基幹病院での出張研修医教育

3. 大学院教育

- (1) 修士課程 (家庭医療・地域医療)
- (2) 博士課程 (家庭医療・地域医療)

4. 指導医向け研修会

2. 臨床研究等の実績

1. 書籍

- ・ 谷崎隆太郎. 肺炎・気管支炎. in 羽田野義郎, 北和也 (編). トップランナーの外来診療術. 東京: 医学書院; 2019 年. p44-55.
- ・ 谷崎隆太郎. 性感染症. in 羽田野義郎 (編). 抗菌薬ドリル実践編. 東京: 羊土社; 2019 年. p196-205.
- ・ 笹本 浩平. 医学生・若手医師のための 誰も教えてくれなかったノンテクニカルスキル. 1 版. 京都市: 金芳堂; 2019 年.

2. 原著論文 (学会誌, 総説含む)

【英文誌】

- ・ Tanizaki R, Ichikawa S, Takemura Y. Clinical impact of perinephric fat stranding detected on computed tomography in patients with acute pyelonephritis: a retrospective observational study, *Eur J Clin Microbiol Infect Dis* 2019; 38(11): 2185-2192.
- ・ Ukai T, Ichikawa S, Sekimoto M, Shikata S, Takemura Y. Effectiveness of monthly and bimonthly follow-up of patients with well-controlled type 2 diabetes: a propensity score matched cohort study. *BMC Endocr Disord*. 2019 May 2;19(1):43. doi: 10.1186/s12902-019-0372-5.
- ・ Haya MAN, Ichikawa S, Wakabayashi H, Takemura Y. Family Caregivers' Perspectives for the Effect of Social Support on their Care Burden and Quality of Life: A Mixed-Method Study in Rural and Sub-Urban Central Japan. *The Tohoku Journal of Experimental Medicine* 2019; 247: 197-207.
- ・ Kato D, Wakabayashi H, Takamura A, Takemura YC. Identifying the learning objectives of clinical clerkship in community

health in Japan: Focus group. *J Gen Fam Med* 2020; 21(2): 3-8.

- Tanizaki R. Gangrene-like cheilitis and pustular eruptions in a patient with secondary syphilis. *CMAJ* 2019;191(50):E1382.

【和文誌】

- 中富尚宏. 海外の里親制度から検討する日本の課題. *家族療法研究* 2019; 36: 95-103
3. 原著論文以外
- 谷崎隆太郎. 感染症 2020—冬のインフルエンザ・夏のオリンピックに備える オリンピック時に問題となりうる感染症 梅毒. *内科* 2020; 125(1): 65-68,
 - 谷崎隆太郎. 終末期の感染症でもやもやしないために (特集 終末問題”まるミエ”企画 終末期の「もやもや」ぶっちゃけちゃいます! -- (終末期のもやもや: どの分野にも、もやもやはつきものです). *在宅新療* 2019; 4(12): 1134-1139.
 - 谷崎隆太郎. 【なめたらアカン風邪診療 あなたのいつもの診療, 見られてますよ!】風邪へのアプローチ 患者背景別のアプローチ 風邪に見える性感染症. *Gノート* 2019; 6(6): 990-996.
 - 谷崎隆太郎. USMLE のススメ: 瀬崎智之先生講演会@三重大学. *レジデントノート* 2019; 21(7): 1314-1316.
 - 谷崎隆太郎. 抗菌薬をアップデートせよ! 耐性菌に立ち向かう! 適正化の手法から使い分けまで系統別アップデート 2) 臓器別感染症治療戦略をアップデートせよ! 性感染症をアップデートせよ. *Medicina* 2020; 56(7): 1052-1054.
 - 市川周平. 異分野への越境がプライマリ・ケアの未来を拓く. *日本プライマリ・ケア連合学会誌* 2019; doi: 10.14442/generalist.42.77.
 - 若林 英樹, 山田 宇以. 【家族志向型ケア入門 家族をみよう】総論 家族志向型ケアの理論と具体的実践 家族図の書き方、読み方. *治療* 2020; 102(1): 24-32.
 - 若林 英樹. 【家族志向型ケア入門 家族をみよう】総論 家族志向型ケアの理論と具体的実践 家族ライフサイクルと発達段階の使い方. *治療* 2020; 102(1): 34-40.
 - 中村 太一, 若林 英樹. 【認知症診療、全部まるミエ!?第一線の現場で活かせること】介護者、家族へのケアについて考える *家族・介護者のケア、プライマリ・ケアの現場で意識すること. 治療* 2019; 101(10): 1184-1188.
4. 国内学会・研究会発表 (口述, ポスターを含む)
- 谷崎隆太郎. 非専門家のための梅毒の臨床. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会 2019年, 名古屋: 教育講演
 - Miyamatsu Y, Tanizaki R. Escitalopram, Mirtazapine, and Quetiapine Induced Serotonin Syndrome. *ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会・講演会* 2019: P-77.
 - 高岡聖司, 谷崎隆太郎. MRI で診断しえたESBL 産生大腸菌による肝嚢胞感染の一例. 第20回病院総合診療医学会学術総会 2020年, 博多: ポスター-hgm009-00126.
 - 谷崎隆太郎. 急性腎盂腎炎患者における腎臓周囲脂肪織濃度上昇と菌血症の関連. 第20回病院総合診療医学会学術総会 2020年, 博多: 口演.
 - 谷崎隆太郎. 85歳女性透析は死んでもしません. ケースディスカッション. 第12回東海血流感染症セミナー2019年, 名古屋.
 - 市川周平, 石田和歌子, 北村大. 就労と治療の両立について労働者が修得すべきリテラシーは何か? 第92回日本産業衛生学会 2019, 名古屋.
 - 市川周平, Marinda Asiah Nuril Haya, 柴垣維乃, 本山莉子, 向原千夏. 地域への愛着の感じ方が地域の健康活動への参加に及ぼす影響: 横断研究. *日本プライマリ・ケア連合学会* 2019, 京都.
 - 若林英樹. 日常診療で必ず役立つ家族志向ケア (教育講演). 第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2019, 京都.
5. 海外学会・研究会発表 (口述, ポスターを含む)
- Tanizaki R, Kondo S, Hashimoto S. What problems are medical students interested in during the bed-side learning period at a community hospital? The 23rd World Conference of WONCA 2019, Kyoto:(W)P-073.
 - Michiko Goto, Hideki Wakabayashi, Masaru Kitamura, Miho Sekimoto, Yousuke Takemura. Development of Video Review Assessment Sheet for Primary Care Resident in Mie University. *WONCA APR* 2019, KYOTO: R01278.
 - Miwa Izuhara, Kaoru Shinoda, Ayako

Nakayama, Ryo Itazu, Mayumi Ito, Akiko Yamahata, Ikuyo Sanzen, Junko Kusano, Micko Goto. Learning Effects of simulated case study conferences by nursing students and pharmacy students. EAFONS 2020, Chiang Mai: E3-5.

- ・ Ichikawa S, Kitamura M, Ishida W. Perception about disclosing husbands' disease to husbands' company among women with small children: cross-sectional study. WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019, Kyoto.
- ・ Wakabayashi H, Yamada U, Suzuki M, Nakatomi T, Nagashima Y. A report of developing workshop in family-oriented primary care (FOPC) for family medicine residents (Poster). WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019, Kyoto.
- ・ Nagashima Y, Nakamura T, Wakabayashi H, Amenomori M. A report of establishing outpatient "Primary Care Counseling" program with family-oriented intervention (Poster). WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019, Kyoto.

6. ワークショップ, 講演会講師, その他 (新聞掲載, テレビ出演等)

- ・ 中山久仁子, 塚田訓久, 宇野健司, 来住知美, 谷崎隆太郎, 松尾裕央, 白野倫徳. W39 プライマリ・ケア医のための HIV、性感染症診療. 第 17 回日本プライマリ・ケア連合学会秋季生涯教育セミナー. 2019 年.
- ・ 谷崎隆太郎. 性感染症へのアプローチ. IDATEN サマーセミナー, 2019 年.
- ・ 谷崎隆太郎. 骨髄炎・椎体炎のマネージメント. IDATEN ウィンターセミナー, 2020 年.
- ・ 谷崎隆太郎. 手洗いで予防できる感染症. 第 15 回伊勢病院ふれあい祭り. 2019 年.
- ・ 谷崎隆太郎. 糖尿病患者さんが知っておきたいホントに怖い感染症. 糖尿病教室. 2019 年.
- ・ 宮松弥生, 谷崎隆太郎. 救急翌朝の再アセスメント. 第 1 回総合診療虎の穴, 2020 年.
- ・ 森洋平, 後藤道子, 高嶋陽子, 井上千鹿子, 吉田登志子, 伊東こずえ, 早川佳穂. 行動変容を教える授業設計体験ワークショップ ～初診以外の医療面接も教えよう～. 第 27 回 医学教育セミナーとワークショップ, 2019: 岐阜.
- ・ Michiko Goto, Kieko Abe, Chikako Inoue,

Kaho Hayakawa. Ninja Again! ASPE, 2016: Florida.

- ・ 杉岡隆, 加藤大祐, 片岡裕貴, 市川周平, 峯昌啓, 花本明子, 渡部純. WS45. 介入効果を評価するために準実験法をやってみよう! 日本プライマリ・ケア連合学会秋期セミナー 2019, 大阪.

■ 今後の展望

2018 年 6 月末にての竹村教授の辞職後、諸事情により、2019 年 3 月より診療と教育を縮小していました。

今後、地域医療と附属病院におけるニーズに応え、総合診療領域の診療、教育と学術活動を発展させる新しい体制を確立する予定です。皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/soshin/>